

6月定例記者会見要旨

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。本日最初の情報も行事関係となりますが、龍ヶ崎の夏の一大イベントで国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」についてのお知らせです。

今年の「撞舞」は、7月21日から開催される八坂祇園祭の最終日、7月23日の日曜日に開催されます。開催場所は例年と同じく根町の撞舞通り、時間は天候等により多少前後いたしますが、例年ですと午後6時頃からの演技開始となっております。

その演技の迫力や独特の緊張感が、毎年、市内外から訪れる多くの観客を魅了している「撞舞」でございますが、今年は特に撞舞保存会と市観光物産協会が、市内の子どもたちを会場に招待するそうです。撞舞の迫力に直に触れ、その魅力と価値を実感してもらうことで、「撞舞継承を支える次代の力」になってくれればと、関係者一同、期待を寄せているところでもございます。

6月4日から毎週日曜日、市役所南側駐車場に行われている練習も、順調だと伺っておりますので、今年も、谷本仁さんと大石浩二さん、お2人による華麗で迫力ある演技が見られるものと期待しております。

続きまして、牛久沼周辺首長会議についてでございます。

牛久沼全体の有効活用につきましては、長年の課題となっておりますが、現在、当市ではご案内のとおり牛久沼の活用構想を策定すべく、まちづくりの専門家である北山創造研究所と協定を結び、総合プロデュースをお願いしております。現在、牛久沼のほとりに道の駅の整備も進めているところでもあります。今後さらに、牛久沼の価値を高めていくためには、当市だけでなく、周辺地域も含めて牛久沼の未来について知恵を出し合い、この地域の核となるような存在に育てていくことが大変重要であり、今ここで求められ

ているのが牛久沼周辺の「広域的な地域連携」だと考えております。

牛久沼周辺首長会議につきましては、牛久沼に隣接する龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、つくばみらい市、及び共有地権者である河内町の5市1町の首長が一堂に会して情報共有・意見交換を行う場として7月6日開催するものです。

参加いただく自治体の首長さん方には、牛久沼に関しての思い、お考えをお話しいただき、活発な情報共有・意見交換としてまいりたいと考えております。

続きまして、インタラクティブフォーラムについてのお知らせでございます。

このフォーラムは、中学生の英語によるコミュニケーション能力を競う大会で、英語を使って双方向的かつ論理的にコミュニケーションを図る力を高め、未来を担う生徒の育成を図ることを目的にしております。期日は7月12日（水）、会場は龍ヶ崎市文化会館小ホールとなっております。

当日は市内各中学校の2・3年生18名が参加し、あらかじめ与えられたテーマをもとに、1人15秒のスピーチと5分間の自由な話合いを行い、優劣を競います。審査は、英語の正確さや流暢さ、表現力、話合いでの貢献度等で総合的に行い、各学年4名が、市の代表として県南大会に出場します。

昨年度は、本市から県南大会を突破し、県大会に出場した生徒もおりますが、今年度も生徒の皆さんには、これまでの取り組みの成果を遺憾なく発揮して、ぜひ、県南大会、県大会と勝ち進んで素晴らしい成績を残してほしいと思います。

最後に、リリースさせていただきました2件についてのご案内でございます。6月30日から7月6日にかけて、タイ王国女子ラグビー・セブンス代表チームが流通経済大学においてキャンプを行います。7月4日には龍ヶ崎二

高女子バスケットボール部との交流等が予定されているところです。

さらに、本市出身のプロフリークライマー野口啓代（あきよ）さんの「子育てたつこのアクション」スペシャルサポーターの就任セレモニーが、同じく7月4日午後1時半より開催されます。子育て環境日本一を目指す本市で育った先輩として、まち全体で子育てを応援していく本市の取り組みに賛同いただき、今回の就任の運びとなりましたので、こちらもぜひ、取材をいただければと思います。

以上で、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。